



神奈川県立川崎図書館 が所蔵する
全国有数の〈社史コレクション〉を
さらに活用していただくため、
社史の使い方や、社史の楽しさ、
社史情報などをお届けしていきます。



2012/06

社史って、「カッコイイ」んです！

「みんなで選ぶ社史グランプリ」の投票が終わりました。神奈川県立川崎図書館と大阪府立中之島図書館とあわせて、総計751票もの投票をいただきました（川崎444票、中之島307票）。投票してくださった皆様、ほんとうに感謝です。

今回の「社楽」では気になる結果発表を、投票用紙にご記入いただいた（ほめポイント）とあわせて紹介させていただきます。

両館でもっとも票を集めたグランプリは、【美味しさを求めて部門】の『アサヒビールの120年』でした。

「ビール業界の象徴でもある会社はどんな苦勞をし、どんな感動があったかわかる本です。」「写真も多く、すっきりまとまった社史で見やすい出来ばえである。」「見やすくまとまっているだけではなく120年の歴史をきちんと編集している。」など多くの感想もいただきました。ほかに目次の見やすさや索引を評価する声も。グランプリ、おめでとうございませう。「その感動を、わかちあおう。」のサブタイトルが、共催イベントにぴったり。乾杯！

つぎに、川崎図書館でもっとも票を集めた、かつ【暮らしを支える部門】で1位になったのは、本田技研工業の技術部門を支える本田技術研究所の「Dream 1998-2010」でした。「いまだき重厚長大だが読んでみたい。」「約十年の製品の記録を、きっちりまとめるところに、企業のモノを大切に作る姿勢を感じました。」と内容を評価する声が多数。技術系に強い川崎図書館で多くの票を集めた理由が垣間見えます。また「巻頭の写真とメッセージが印象的で心に響きました。」や「巻頭グラビアの技術者がカッコイイ。」「表紙もシンプルで格好良い。」といった感想も。じつは社史ってカッコイイのかも。

（裏面へ）

発表！みんなで選ぶ社史グランプリ

なんと総計751票！各部門1位の社史はこちら

美味しさを求めて部門 ☆グランプリ☆☆☆☆	「アサヒビールの120年 その感動を、わかちあう。」 (アサヒビール株式会社)
暮らしを支える部門 ☆川崎図書館最多得票	「Dream 1998-2010」 (株式会社本田技術研究所)
線路はつづくよ部門	「江ノ電ぶらり旅」 (江ノ島電鉄株式会社)
ぴったりに百年史部門	「王子製紙苫小牧工場創業100年のあゆみ」(王子製紙株式会社)
文化を伝えて部門	「東京書籍百年史」 (東京書籍株式会社)

神奈川県立川崎図書館・大阪府立中之島図書館が共通して所蔵する2010年以降に刊行された社史を対象に、各部門4冊から6冊の社史をノミネートしました。順位付けが主目的ではないので、票数や1位以外の順位の公表はいたしません。

まだまだ続きます、関連イベント！

人気の「線路はつづくよ部門」では『江ノ電ぶらり旅』が1位。「電車の楽しみが伝わってくる。江ノ電に乗ってみたくなる社史らしくない社史。」「社史というよりも江ノ電の絵本という感じで親しみがもてた。」「生活と密着した江ノ電の歴史がよくわかる。左頁をすべて写真にしたのも良い。」「電車好きにはたまらない写真が満載だった。」など。ビジュアルで見やすい点が評価されたようです。より詳細な社史には、『江ノ電の100年』(2002年)も刊行されています。

【ぴったり百年史部門】は票が割れましたが、1位は『王子製紙苫小牧工場創業100年のあゆみ』。「シックな感じとでもいうか、レトロな感じが伝わってきた。時代の流れを感じさせられました。読み易くごちゃごちゃしてないのが好感!」「買ってみたいと思わせる本。」や「タイトル(表紙の文字や章題)がかっこいい」と、またまたカッコイイの声。製紙会社の社史だけに、紙の

質感にもこだわりを感じます。

【文化を伝えて部門】は二冊組の『東京書籍百年史』が1位。本編『東京書籍百年史』は「厚みがある。気合が感じられる。教科書の歴史の研究に使える。」「ボリュームが圧倒的!」と情報量の多さが評価につながりました。別冊の『東京書籍百年のあゆみ』には「ビジュアルが美しい。」「従業員アンケートがよかった。」などの感想が寄せられました。

● 今回の投票イベントは優劣をつけることが目的ではなく、投票をきっかけに、まず社史を手にとって、そして社史を身近に感じていただくことが目的でした。皆様の社史に対するイメージも、いくらか変わったのではないのでしょうか。川崎図書館では7月11日まで各部門1位の社史を展示するとともに、味の素、日清食品、内田洋行の社史&貴重な品物の展示も続きます。また、7月6日には「内田洋行百年史ができるまで」の講演会もあります。ぜひご参加ください。

(科学情報課・高田)